

平成27年度第2回契約監視委員会が、平成27年10月2日(金)、労働者健康福祉機構18階会議室において開催されましたので、その議事概要についてお知らせいたします。

平成27年度 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 第2回契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成27年10月2日(金) 13:00～13:45 開催場所：独立行政法人 労働者健康福祉機構18階会議室	
委員	委員 竹内啓博(公認会計士) 委員 田極春美(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)主任研究員) 委員 山本勲(慶應義塾大学商学部教授) 委員 東ヶ崎将(JILPT監事)(議事進行) 委員 中川幸雄(JILPT監事(非常勤))	
審議対象期間	1. 平成27年7月1日～平成27年9月30日に契約締結された案件 2. 平成27年10月～平成28年3月に契約締結予定の案件	
1. 競争性のない随意契約 (平成27年7月1日～9月30日契約締結)	0 件	期間中の契約総件数6件
2. 一者応札・一者応募 (平成27年7月1日～9月30日契約締結)	0 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	下記のとおり	下記のとおり

意見・質問	回答
機構側から、審議案件について契約概要を説明し、全体をご審議いただいた。	
1. 随意契約案件 (平成27年7月1日～9月30日契約締結)	
【案件 1】	
「平成27年度労働政策フォーラムの開催にかかる航空券の手配」	
・契約の相手方とは、2カ国ずつ契約をしているようだが、どのような形で3業者と契約するに至ったのか。	・各々の業者から見積もりをとり、各国の航空運賃を参考に最も金額的に安価な業者と契約をしている。 ・入札を当初は考えていたが、業者に確認したところ、入札をする場合には、日にちもかかることから航空券を確実に手配できる確約ができない旨回答を得たため、随意契約をするに至った。
・航空券の購入を招聘者各自でしてもらい、日本へ来てから精算するという方法はいかが。	・普通に航空券を購入しようとする航空券が高くなるのが考えられる。また為替等の問題もあることから経費的な面で高くなると考えられるため、機構側で購入している。
2. 一者応札・一者応募案件 (平成27年7月1日～9月30日契約締結)	
該当案件無し	
3. 契約事前点検(平成27年7月～平成28年3月)	
・今回頂いた資料については、事前点検項目ごとにとどめてあったため、資料の詳細等について今後提出をお願いしたい。	・従前どおりご審議頂く案件については、今後別途資料等を添付し、お示しをしていきたい。
4. その他	
【独立行政法人労働政策研究・研修機構調達等合理化計画(修正)】	
該当案件無し	
5. 委員最終意見	
契約をする際に、誠実に取り組まれていることは随所に見てとれる。今後も継続的な努力をお願いしたい。	